



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 不二製油株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 2607 URL <http://www.fujioil.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 海老原 善隆
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 隈部 博史 (TEL) 072-463-1035
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	55,977	△5.4	2,963	△24.2	2,887	△24.9	1,880	△29.6
24年3月期第1四半期	59,169	10.6	3,911	△13.5	3,842	△15.9	2,671	△10.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 3,760百万円(5.0%) 24年3月期第1四半期 3,580百万円(16.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	21.88	—
24年3月期第1四半期	31.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	186,282	111,997	56.8	1,231.63
24年3月期	183,862	109,464	56.4	1,205.49

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 105,871百万円 24年3月期 103,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	116,400	△0.1	6,200	3.1	6,000	1.7	3,800	△4.0	44.21
通期	248,500	5.0	15,500	19.4	15,000	15.2	9,300	12.2	108.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	87,569,383株	24年3月期	87,569,383株
25年3月期1Q	1,608,883株	24年3月期	1,608,883株
25年3月期1Q	85,960,500株	24年3月期1Q	85,960,599株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気動向・企業収益はゆるやかな回復の兆しが見られましたが、デフレ・円高基調の長期化・貿易収支の悪化・雇用環境の低迷等厳しい経済情勢が続きました。また海外では、欧州の金融・財政不安の長期化や新興国の経済成長の鈍化がみられ、国内外で不透明な経済情勢が続きました。

当社グループを取り巻く食品業界でも、消費者の節約志向・低価格志向は依然強く、厳しい事業環境が続きました。

この様な状況の中、当社グループは新中期経営計画「Global & Quality 2013」を掲げ、「グローバル経営の推進」「技術経営の推進」「サステナブル経営の推進」を方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は559億77百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は29億63百万円（前年同期比24.2%減）、経常利益は28億87百万円（前年同期比24.9%減）、四半期純利益は18億80百万円（前年同期比29.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(油脂部門)

国内では、主要原料相場下落による販売価格低下により、部門全体の売上高は減収となりました。ヤシ油・パーム油・調合油は採算維持に努めましたが、チョコレート用油脂は、ココアバター相場下落の影響を受け採算が悪化して、減収・減益となりました。

海外では、チョコレート用油脂は、欧米での販売数量減に加えて、国内同様に採算が悪化して、減収・減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は219億61百万円（前年同期比14.8%減）、セグメント利益（営業利益）は5億56百万円（前年同期比59.9%減）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、業務用チョコレートは、スイートチョコ・カラーチョコの販売が増加して、増収となりました。クリームは、オーム乳業株式会社の株式取得による連結子会社化により増収となり、マーガリン・フィリングはパン用の販売が増加して、増収となりました。粉乳調製品の販売が減少しましたが、部門全体では、増収・増益となりました。

海外では、業務用チョコレート、クリーム、マーガリンの東南アジア・中国での販売が好調に推移して増収となりましたが、日本向け調製品の減少により減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は248億62百万円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益（営業利益）は18億91百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

(大豆たん白部門)

大豆たん白素材は、食肉・水産市場向けが増加しましたが、健康食品・冷食・惣菜・発酵培地用途が減少して、減収となりました。

大豆たん白機能剤は、発酵培地用途が増加しましたが、輸出が減少して、減収となりました。

大豆たん白食品は、弁当給食市場向けが増加しましたが、即席麺用途が減少して、減収となりました。

以上の結果、当部門の売上高は91億52百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益（営業利益）は5億15百万円（前年同期比27.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億20百万円増加し、1,862億82百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の増加2億20百万円、たな卸資産の増加17億3百万円、有形固定資産の増加10億10百万円であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ6億91百万円増加し、384億11百万円となりました。

主な純資産の変動は、剰余金の配当10億31百万円と四半期純利益18億80百万円により利益剰余金が8億54百万円増加したこと及びその他の包括利益累計額の13億94百万円の増加等であります。

以上の結果、自己資本比率は56.8%、1株当たり純資産は1,231円63銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2億44百万円増加、前第1四半期連結累計期間末に比べ46億26百万円増加し、124億75百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で50億79百万円増加し、29億17百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益29億15百万円、減価償却費20億55百万円、売上債権の減少額8億88百万円等による収入が、仕入債務の減少額11億70百万円、法人税等の支払額19億48百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で4億17百万円支出が増加し、18億5百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9億50百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で57億31百万円減少し、12億83百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金による資金調達額の純減少額6億80百万円、長期借入れによる収入6億円、配当金の支払額10億31百万円による支出等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月8日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,403	12,623
受取手形及び売掛金	46,350	46,327
商品及び製品	17,793	19,635
原材料及び貯蔵品	17,036	16,898
繰延税金資産	958	1,507
その他	3,470	2,096
貸倒引当金	△99	△100
流動資産合計	97,913	98,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,583	29,536
機械装置及び運搬具(純額)	26,186	26,602
土地	15,932	15,955
建設仮勘定	875	1,488
その他(純額)	1,343	1,348
有形固定資産合計	73,921	74,931
無形固定資産	1,544	1,722
投資その他の資産		
投資有価証券	8,671	8,740
繰延税金資産	63	145
その他	1,979	1,974
貸倒引当金	△232	△221
投資その他の資産合計	10,483	10,639
固定資産合計	85,948	87,293
資産合計	183,862	186,282
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,394	21,561
短期借入金	13,598	13,638
1年内償還予定の社債	20	20
1年内返済予定の長期借入金	4,383	4,397
未払法人税等	2,100	1,446
賞与引当金	1,692	2,604
役員賞与引当金	85	—
その他	6,824	6,590
流動負債合計	51,099	50,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
固定負債		
社債	5,040	5,040
長期借入金	14,678	15,316
繰延税金負債	727	717
退職給付引当金	1,985	2,095
役員退職慰労引当金	467	71
その他	399	786
固定負債合計	23,299	24,027
負債合計	74,398	74,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324
利益剰余金	82,627	83,481
自己株式	△1,746	△1,746
株主資本合計	112,414	113,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,359	1,217
繰延ヘッジ損益	290	△75
為替換算調整勘定	△10,440	△8,538
その他の包括利益累計額合計	△8,790	△7,396
少数株主持分	5,839	6,125
純資産合計	109,464	111,997
負債純資産合計	183,862	186,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	59,169	55,977
売上原価	48,184	45,595
売上総利益	10,984	10,381
販売費及び一般管理費	7,072	7,418
営業利益	3,911	2,963
営業外収益		
受取配当金	86	110
補助金収入	43	—
その他	66	61
営業外収益合計	197	171
営業外費用		
支払利息	159	130
寄付金	65	61
その他	41	55
営業外費用合計	266	248
経常利益	3,842	2,887
特別利益		
投資有価証券売却益	—	50
特別利益合計	—	50
特別損失		
固定資産処分損	40	22
投資有価証券評価損	55	—
災害による損失	35	—
特別損失合計	130	22
税金等調整前四半期純利益	3,712	2,915
法人税、住民税及び事業税	1,287	1,315
法人税等調整額	△366	△366
法人税等合計	921	948
少数株主損益調整前四半期純利益	2,790	1,967
少数株主利益	119	86
四半期純利益	2,671	1,880

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,790	1,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	△142
繰延ヘッジ損益	△212	△365
為替換算調整勘定	1,057	2,245
持分法適用会社に対する持分相当額	6	55
その他の包括利益合計	789	1,792
四半期包括利益	3,580	3,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,317	3,315
少数株主に係る四半期包括利益	263	445

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,712	2,915
減価償却費	2,143	2,055
退職給付引当金の増減額(△は減少)	29	93
受取利息及び受取配当金	△95	△119
支払利息	159	130
売上債権の増減額(△は増加)	△3,425	888
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,564	△664
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,685	△1,170
その他	1,055	741
小計	328	4,870
利息及び配当金の受取額	91	119
利息の支払額	△125	△123
法人税等の支払額	△2,457	△1,948
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,162	2,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,436	△950
連結子会社の出資持分売却による収入	—	753
連結子会社株式取得による支出	—	△900
関連会社株式取得による支出	—	△382
その他	47	△326
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,388	△1,805
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,756	△680
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	1,000	—
長期借入れによる収入	2,000	600
長期借入金の返済による支出	△244	△61
配当金の支払額	△1,031	△1,031
その他	△32	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,448	△1,283
現金及び現金同等物に係る換算差額	114	303
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,011	131
現金及び現金同等物の期首残高	6,842	12,231
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	112
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△4	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,849	12,475

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下、当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,763	23,897	9,507	59,169	—	59,169
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,217	27	232	3,476	△3,476	—
計	28,980	23,925	9,739	62,646	△3,476	59,169
セグメント利益	1,386	1,814	710	3,911	—	3,911

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	42,028	9,003	4,512	3,625	59,169	—	59,169
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27	9,064	126	—	9,217	△9,217	—
計	42,055	18,067	4,639	3,625	68,387	△9,217	59,169
セグメント利益	2,854	511	286	160	3,813	98	3,911

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア
米州：米国
欧州：ベルギー

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下、当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,961	24,862	9,152	55,977	—	55,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,742	42	136	2,921	△2,921	—
計	24,703	24,905	9,289	58,898	△2,921	55,977
セグメント利益	556	1,891	515	2,963	—	2,963

(注) 1 セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載の通り、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方と比べて、セグメント損益に与える影響は軽微であります。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	40,020	9,026	3,787	3,142	55,977	—	55,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	7,910	120	—	8,049	△8,049	—
計	40,038	16,937	3,907	3,142	64,026	△8,049	55,977
セグメント利益又は損益(△)	2,639	417	△17	45	3,084	△121	2,963

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア
タイ

米州：米国

欧州：ベルギー

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。